

# 令和6年度 ダイバーシティ就労モデル事業実践報告会 次 第

令和 7 年3月4日

時間	プログラム	登壇者
13:30～ 13:35	開会の挨拶	千葉県健康福祉部 健康福祉政策課 政策室 室長 葛見 浩氏
<b>第 1 部 実績報告及び実践報告</b>		
13:35～ 13:50	【事業報告】 事業概要の説明・実績報告、成果と課題	(NPO)ユニバーサル就労ネットワークちば 事務局長 島田 将太
13:50～ 15:00	【実践事例報告 ・ 3 事例】 支援機関・サービス事業所からの報告 連携企業の取組紹介と報告  【質疑応答】	福祉相談支援センターきみつ 相談支援員 磯貝香里氏 館山市社会福祉協議会 和泉渚氏 就労移行支援事業所リタリコワークス千葉 サービス管理責任者 菅原礼人氏 アマゾンジャパン合同会社 人事部 島田誠也氏 (NPO)ユニバーサル就労ネットワークちば 相談員 嶺千鶴子
15:00～15:10	休 憩	
<b>第 2 部 ダイバーシティ就労モデル事業のこれから</b>		
15:10～ 15:25	WORK ! DIVERSITY プロジェクトの 今後の展望について	日本財団 公益事業部 シニアオフィサー 竹村 利道氏
15:25～ 15:30	関係機関からの応援メッセージ	中核地域生活支援センターいちほら福祉ネット 所長 大戸 優子氏
15:30～ 16:20	トークセッション ～WORK ! DIVERSITY のこれから～ 制度化に向けて！	(NPO)ユニバーサル就労ネットワークちば 副理事長 平田 智子 (一社)ダイバーシティ就労支援機構 理事長 村木 太郎氏 とよた多世代参加支援プロジェクト 事務局長 栗本 浩一氏
16:20～ 16:30	総括	(NPO)ユニバーサル就労ネットワークちば 理事長 池田 徹

## 【アンケートの回答をお願いいたします】

5分くらいで終わる簡単なアンケートです。

今後の活動のため、当事業へのご意見ご要望、ぜひご回答ください！

アンケート入力フォーム QR コード ⇒



# ダイバーシティ就労モデル事業 in ちば

## 事業報告書

報告期間：令和4年9月～令和7年2月

特定非営利活動法人

ユニバーサル就労ネットワークちば



# Work! Diversityプロジェクト (ダイバーシティ就労) とは

Supported by  
  
THE NIPPON  
FOUNDATION

「働きづらさ」をテーマにした日本財団による就労支援プロジェクト

働くこと、働き続けることを実現し喜びを感じてもらえる支援と労働力確保、社会保障の軽減にもつながりたい。

そんな発想でこの国の未来を変えていくプロジェクトが

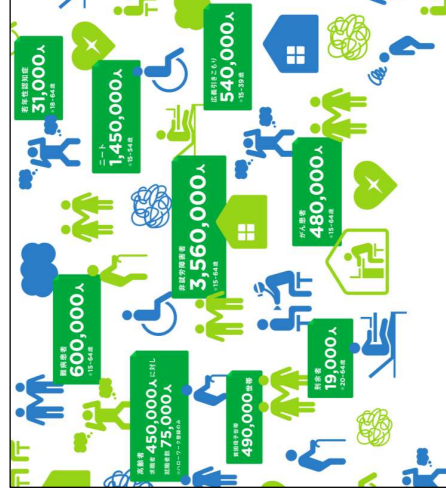
## 「WORK! DIVERSITY」

障害者手帳を持たない多様な就労困難者に対し、既存の就労支援システムを活用し、新たな支援モデルの構築を目的。

## 働きづらさを抱える方とは

2018年、日本財団の調査により、引きこもり、ニート、ミッシングワーカー、刑余者、若年認知症、難病、各種依存症、がん患者、非就労障害者など、生きづらさ・働きづらさのある方々がのべ1500万人におよぶことが判明しました。

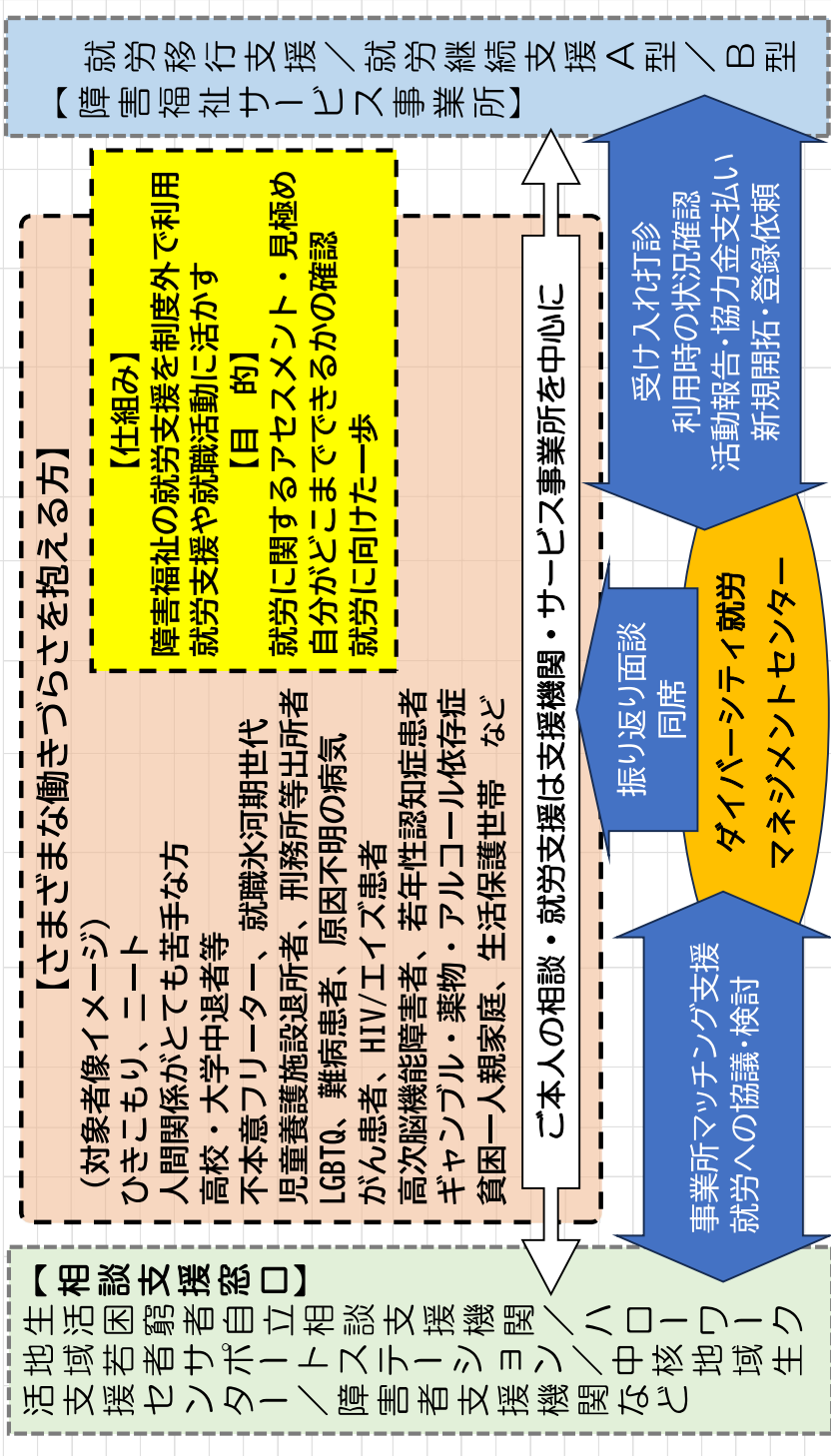
中にはすでに働いている方、重複した要因にわたる方がありと推定され、その実数は、約600万人とされます。



# ■千葉県におけるダイバーシティ就労モデル事業概要■

対象者	様々な働きづらさを抱える方で、障害福祉サービスが受けられない方で、働きたいという意思のある方 ※障害者手帳や障害福祉サービス受給者証のない方、取得予定のない方が対象となります
実施場所	就労移行支援事業所、就労継続支援（A型・B型）事業所
利用期間	原則、1ヶ月～6ヶ月間
支援体制	本人・サービス事業所・伴走する支援機関と一緒に実施
利用人数	年間45～50名程度を想定
協力金	体験：5,000円／日、本利用7,000円／日 ※協力金は、受け入れ事業所へ実績をもとにお支払いするものです
相談員体制	事業責任者1名、相談員2名
事業概要	令和4年9月よりモデル事業を実施。

## ダイバーシティ就労 モデル事業の事業スキーム





# ダイバーシティ就労 利用の流れ



## 相談 受付

- ・ご本人または支援機関よりご連絡下さい。
- ・「仕事が続かない」「仕事が決まらない」「働く自信がない」「働くための訓練を受けたい」「体調不良などでうまく働けない」など

## 初回 面談

- ・ダイバーシティ就労担当との面談
- ・お住まいの地域の支援機関・支援者にも同席の上、面談をします
- ・希望する内容を確認し、事業所の見学調整などを進めます

## 見学

- ・登録された障害福祉サービス事業所にて、利用に向けた見学をします
- ・見学後、体験利用を行うかどうかを検討します

## 体験

- ・原則、3日間～5日間ほど体験を行います
- ・体験終了後、振り返り面談を行い、本利用するかを検討します

## 本利用

- ・目標と活動内容、予定利用期間を確認し、活動計画を作成します
- ・各事業所等との利用契約を結びます

## 振り 返し

- ・ご本人、支援機関、事業所、ダイバーシティ就労担当の4者で振り返ります（モニタリング）
- ・活動状況を確認し、今後の方針を決めます

## 利用 終了

- ・就職が決まるなど、進路が決まった場合は終了となります。
- ・「仕事が決まった」「自分に合った働き方がみつかった」「自分なりのキャリアプランができた」
- ・利用期間満了や利用希望がなくなった場合も終了となります

## □■ 実施するサービス事業所の特徴 ■□

### 就労移行支援事業所

- 支援プログラム（作業や座学など）から、自分の適性や強み興味関心を見つけ出す
- 資格取得、企業見学、職場体験等を通して、具体的な就職活動へのステップを踏む
- 賃金は発生しません

### 就労継続支援A型

- 一般就労に近い形でトレーニング
- 就労時間は短い（4、5時間程度）
- 雇用契約を結び（平均月収8万円）
  - ・ PC作業、ネット出品の準備
  - ・ ボールペン組み立て
  - ・ 倉庫作業
  - ・ 宅配弁当調理補助 など

### 就労継続支援B型

- 短時間から始められる
- 工賃が支給（平均月収1.5万円）
- 雇用契約は結ばない
  - ・ 内職（箱の組み立て、袋詰め）
  - ・ 農作業（野菜の袋詰め、草刈り）
  - ・ PC作業（データ入力）
  - ・ 接客業（カフェ等）、調理補助 など

## ■ダイバーシティ就労と連携している支援機関（一部）■

生活困窮者自立相談支援機関（自立相談・就労準備支援）

千葉県中核地域生活支援センター

地域若者サポートステーション

福祉事務所・被保護就労支援事業所

障害者基幹相談支援センター

千葉市ひきこもり地域支援センター

千葉市子ども・若者総合相談センターLink

ハローワーク専門援助部門（障害・長期療養など）

重層的支援体制整備事業窓口

行政窓口

## ◆◆◆ これまでの実施状況の概要 ◆◆◆

※2024年度分は速報値

### 相談問合せ

355件

2022年度	140件
2023年度	123件
2024年度	92件

### 初回面談

193名

2022年度	72名
2023年度	70名
2024年度	51名

### 見学・体験

373件

2022年度	128件
2023年度	130件
2024年度	115件

### 本利用

114名

2022年度	44件
2023年度	38件
2024年度	32件

#### 【利用機関種別】

就労移行	28名
就労継続A型	38名
就労継続B型	42名
一般企業	6名

## ◆◆◆ 利用終了者(96名)の概要 ◆◆◆

※2024年度分は速報値

### 就労決定

21名

2022年度	2名
2023年度	10名
2024年度	9名

正社員	4名
パート	17名
(うち退職者2名)	

### 福祉サービス利用

49名

2022年度	6名
2023年度	30名
2024年度	13名

就労移行	11名
就労継続A型	18名
就労継続B型	20名
(うち利用後就労者5名)	

### その他

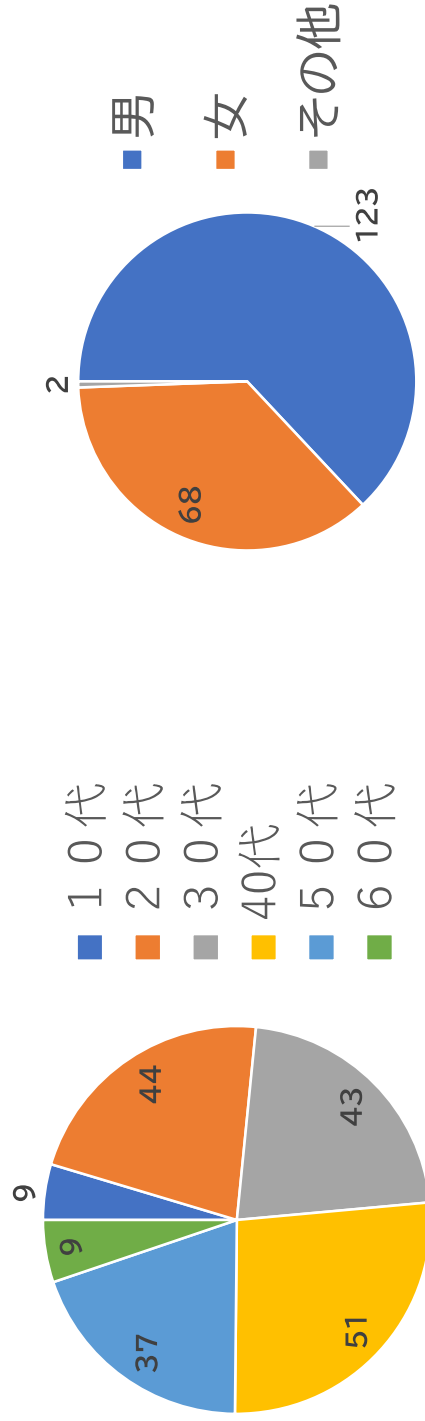
26名

2022年度	3名
2023年度	11名
2024年度	12名

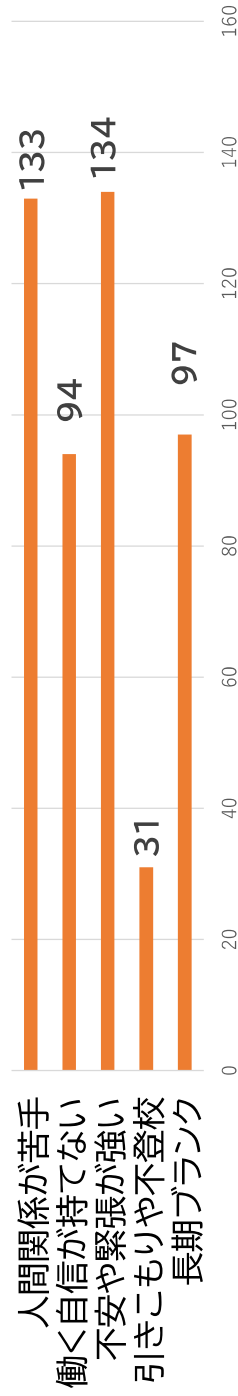
就職活動	12名
その他	14名
(うち就労者5名)	



## 相談者の概要



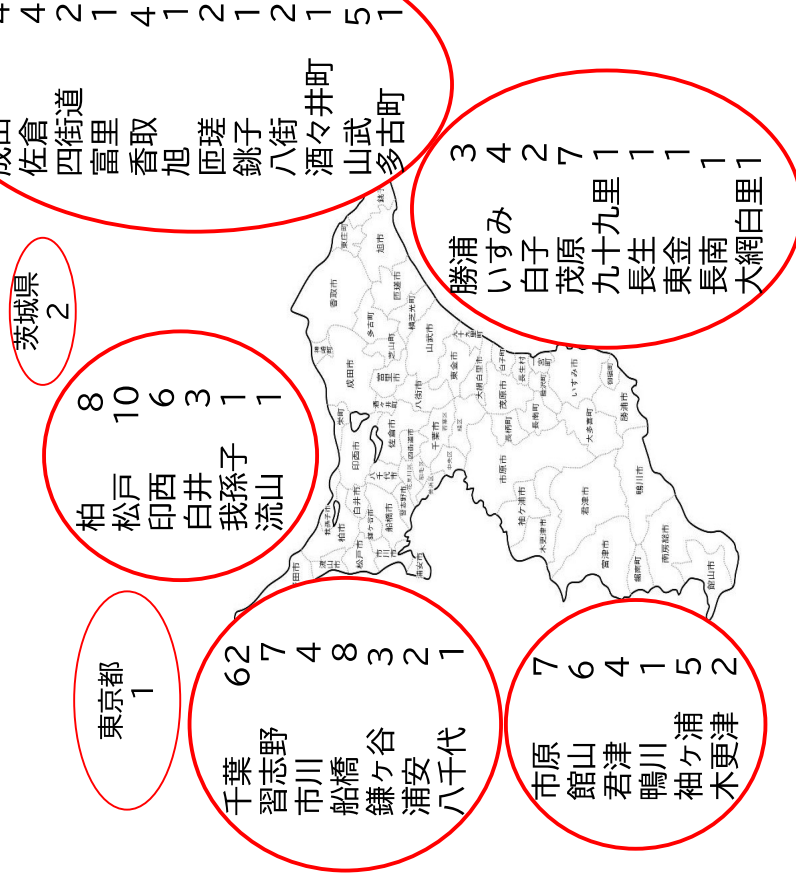
## 働くうええ心配なこと(複数回答)



## 支援機関別相談経路

	合計
生活困窮者自立相談支援機関	89
中核地域生活支援センター	19
地域若者サポートステーション	33
被保護就労支援機関	13
障害者基幹相談支援センター	5
千葉市ひきこもり・Link	5
本人	5
就労移行支援事業所	11
就労継続支援A型	1
就労継続支援B型	3
行政・障害窓口	1
学校	1
ハローワーク	4
病院	2
その他	1

## 市町村別相談経路



□■□

利用事業所別 終了者実績 内訳

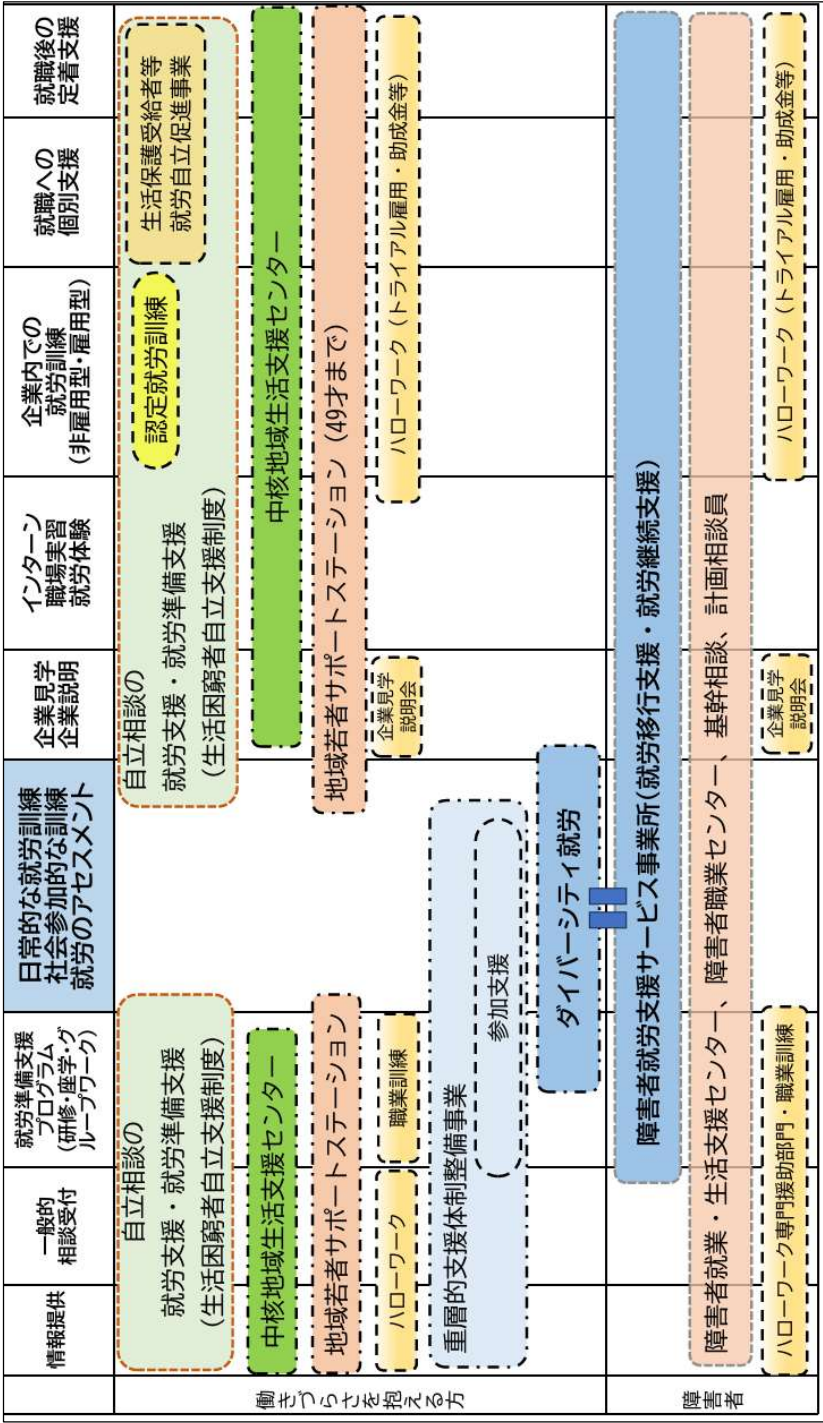
□■□

利用機関	終了者	パターン① 一般就労者				パターン② 制度利用				パターン③ その他	
		就労者 (総数)	(内訳) 正社員	(内訳) パート	割合	サービス 利用	割合	利用後 就職者	就職 活動	その他	
就労移行支援	20	3	1	2	15%	11	55%	3	3	3	
就労継続A型	35	8	1	7	22%	18	51%	0	5	4	
就労継続B型	35	5	1	4	14%	20	57%	2	4	6	
一般企業	6	5	1	4	83%	0	0%	0	0	1	
合計	96	21	4	17	21%	49	51%		12	14	
その後の状況		退職 1名	退職 1名	退職 1名		就労 5名			就労 5名		
平均利用期間		4.8ヶ月	5.6ヶ月			4.5ヶ月			5ヶ月	4ヶ月	
最短		2.5ヶ月	2.5ヶ月			1ヶ月			2.5ヶ月	1ヶ月	
最長		7ヶ月	13ヶ月			8ヶ月			7.5ヶ月	8ヶ月	

□■□

就労支援機関・制度との連携 見取り図

□■□



## 利用者の声

- 意外と仕事が出来るのかも。
- 対人関係も意外と大丈夫なんだと思った
- 経験させてもらって感謝している。自分を採用してもらえて、感謝している。体力面で不安もあるが頑張る
- 家にいた時はわからなかった体調の変化が分かり、難病が見つかった
- 働く自信が持てて、早く収入を得たいと思うようになった
- 仕事がうまくいかず、すぐくつらい時もあったけど、働く自信ができました。頑張ります

- 正社員にはこだわらず長く働ける仕事を探したい。数字が得意ということが分かり、経理もありかな
- 不安だった体力面よりも、精神面の疲れが出て自分でも驚いた。事務よりも体を使う軽作業が向いているとわかった
- スタッフは皆優しく、相談していいんだとわかり通おうと思った
- 初めての給料で、母の日にプレゼントを買った
- 以前はあまり関係の良くなかった姉と相談して、母の還暦祝いをしてプレゼントを一緒に渡せた
- 家族を理由に働いていない状況から目をそむけていたが、まずは自分が自立することを考えることにした。収入は大事。継続して働きたい

## サービス事業所の声

- 能力が比較的高く、作業範囲が大きく広がった
- 他利用者が刺激され、作業姿勢が格段に向上
- 困ったことはほばない。
- 今後も受け入れたい
- 受け入れた方を採用することもあります
- 事業所としてプラスになることばかり。
- 受入先が増え、働くきっかけを得る場が多くなることは良いこと

## 就労支援機関の声

- ❖ひきこもり者など社会経験の浅い方等へ提案ができ、就労の新たな選択肢
- ❖精神疾患はあるが「障害者」ではない方の新たな選択肢になっている
- ❖一般就労未満での就労模擬実践の場として他にない場であり、ありがたい。
- ❖事業所によっては「対価」があることでご本人のモチベーションが高まる
- ❖潜んでいるニーズを表出できる
- ❖千葉県では「モデル事業」ではなく、「既存の社会資源」になっている。
- ❖「分野横断的な就労支援」としての存在であることが大きな意味を持つ！



## ダイバーシティ就労支援地域ネットワーク協議会・報告会



本事業の推進や事業進捗の共有、事業協力を広げていくため、以下の協議体を発足し、千葉県や自治体とともに事業の進捗状況や推進方法等について協議・意見交換を実施しています。また、事業成果について、年に1回、事業報告会を開催しています。

### 【主な協議事項】

- 実績報告および振り返り
- 利用期間、協力金について
- 具体的な就労支援、課題整理、既存制度の活用
- 認定就労訓練事業、各種雇用助成金
- 千葉県中小企業家同友会とのネットワーク 等

### 【協議会メンバー】

- 千葉県健康福祉政策課
- 千葉県生活困窮者自立支援実務者ネットワーク
- 生活困窮者自立支援機関
- 千葉県中核地域生活支援センター
- ハローワーク千葉
- 障害者就業・生活支援センター
- 就労移行支援事業所、就労継続支援A型・B型事業所
- 協力企業
- 市町村関係機関 等



- 地域若者サポートステーション

## 成果

- ▶「日常的な就労訓練」というスキマを埋める新たな選択肢
- ▶「就労の総合相談」という相談しやすさ  
(これまで繋がらなかった方と繋がれた)
- ▶「総合的な就労支援」をテーマにしたネットワーク構築  
(既存の多様な就労支援機関による協議の場)

## 課題

- ▶訓練には通えるも、求人への応募等はハードルが高い
- ▶サービス事業所での一般就労に向けた支援内容の違い
- ▶仕事のスキルだけでなく、相談する力も必要
- ▶雇用する企業との繋がりの弱さ
- ▶一般的な就労以外の選択肢の提案が十分ではないだろう

## □■□ これからの取り組み □■□

### ▶障害福祉サービス事業所同士の意見交換の機会

- サービス事業所として受け入れてみての実態や工夫、悩みなどを共有する機会

### ▶一般企業との協働促進、就労支援のネットワークづくり

- 中ポツ、サポステ、ハローワーク、協力企業、大学など
- 中小企業家同友会などと意見交換、ネットワークづくり

### ▶多様な社会参加、行き場のコーディネート

- 就労や制度利用が難しい利用者への新たな提案
- 重層的支援体制整備事業の参加支援との協働

### ▶既存制度の活用促進

- 一般就労と障害者雇用の間の「中間的就労」 (認定就労訓練事業との連携)
- 就労準備支援事業での就労体験 など

MEMO



事 務 連 絡  
令和 5 年 8 月 4 日

都道府県・政令指定都市  
ひきこもり関連施策ご担当課 御中

厚生労働省社会・援護局地域福祉課

ひきこもりの方への就労支援について（情報提供）

平素よりひきこもり支援の推進にご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、アマゾンジャパン合同会社から「ひきこもりの方への就労支援」として、全国に設置されているアマゾンジャパンのデリバリーセンターにおける就労機会の提供及びサポートについて情報提供がありました。

つきましては、全国のひきこもり支援窓口等において就労希望されている方への支援にご活用ください。なお、詳細につきましては下記問い合わせ先までへ直接お問い合わせください。

なお、本情報については、地域若者サポートステーション、生活困窮者全国ネットワークにも情報提供済みです。

また、今回の情報提供については、アマゾンジャパン合同会社への就労をお約束するものではありませんのでご承知おきください。

1 送付物

アマゾンジャパン合同会社案内文  
（参考）求人票例

2 問い合わせ先

アマゾンジャパン合同会社 物流事業人事担当

植谷（うえたに）様 [uetaniry@amazon.com](mailto:uetaniry@amazon.com)

定末（さだすえ）様 [sadwatar@amazon.co.jp](mailto:sadwatar@amazon.co.jp)

【照会先】厚生労働省社会・援護局地域福祉課

地域福祉・ボランティア係

<TEL>03-5253-1111（内線 2218）

<e-mail>[chiikifukusi@mhlw.go.jp](mailto:chiikifukusi@mhlw.go.jp)



2023年7月31日

アマゾンジャパン合同会社

## ひきこもりの方への就労支援について

標題の件について、下記のとおり案内いたしますので、ご検討よろしくお願い致します。

### 記

#### ・就労支援の目的

Amazonは2021年、「Strive to be Earth's Best Employer」という新たなLeadership Principleを導入いたしました。DEI(Diversity, Equity & Inclusion)の観点から、ひきこもりの方々に対して、社会へ復帰するための就労機会の提供およびサポートを行うことで、私たちは日本全体の問題に対する解決に寄与することを目指しています。

#### ・DS（デリバリーステーション）とは（※イメージ図を参照ください）

Amazon Customer Fulfillment NetworkのLast mile（お客様へ商品を届ける物流の最後の区間を担当する拠点）を”デリバリーステーション”（DS）と呼びます。お客様の荷物がFC（フルフィルメントセンター）と呼ばれるAmazon倉庫から出庫されてから、DS（デリバリーステーション）に荷物が送られます。DSではドライバーがお客様の荷物を効率よく配送できるように、住所ごとに仕分けを行い、DSからお客様の元へ荷物を運びます。

#### ・具体的な作業内容について

デリバリーステーションでは次の業務があり、勤務時間中はいずれかの配置に就くことを想定しています。（説明会の際、各ポジションについて説明をいたします）

##### 【1】Sort/ソート（仕分け）

##### ① トラックから荷降ろし作業

トラックの荷物をロールボックスのまま庫内へ降ろします。（ドライバーが実施）

##### ② 入庫作業（Induction/インダクション）

荷物のバーコードをスキャンし出てきたラベルを荷物に貼ります。

③ 振り分け作業 (Pusher&Diverter /ブッシャー&ダイバーター)

荷物に貼られたラベルをみて正しいレーンに荷物が行くようにコンベアの分岐点で荷物の振り分けを行います。

④ 仕分け作業 (Buffer/バッファ)

レーンに配置された作業者はコンベアから荷物を取り、対象のシルバールック(棚)に荷物を置きます。

⑤ バッグ入れ作業 (Slow/スロー)

各アイル(通路)に配置された作業者は、シルバールックに置かれた荷物をスキャンし対象のバッグに入れます。

【2】 Pick&Stage/ピック & ステージ (運搬作業)

① ルート確認作業

ドライバーが持つて行く荷物(ルート)を作成するためにスキャナーにログイン Pick&Stage の準備をします。

② Pick & Stage 作業 (ルート作成作業)

スキャナーに記載されている Bag をスキャンし空ロールボックスに Bag を積みます。

③ ステージング作業 (ルート運搬作業)

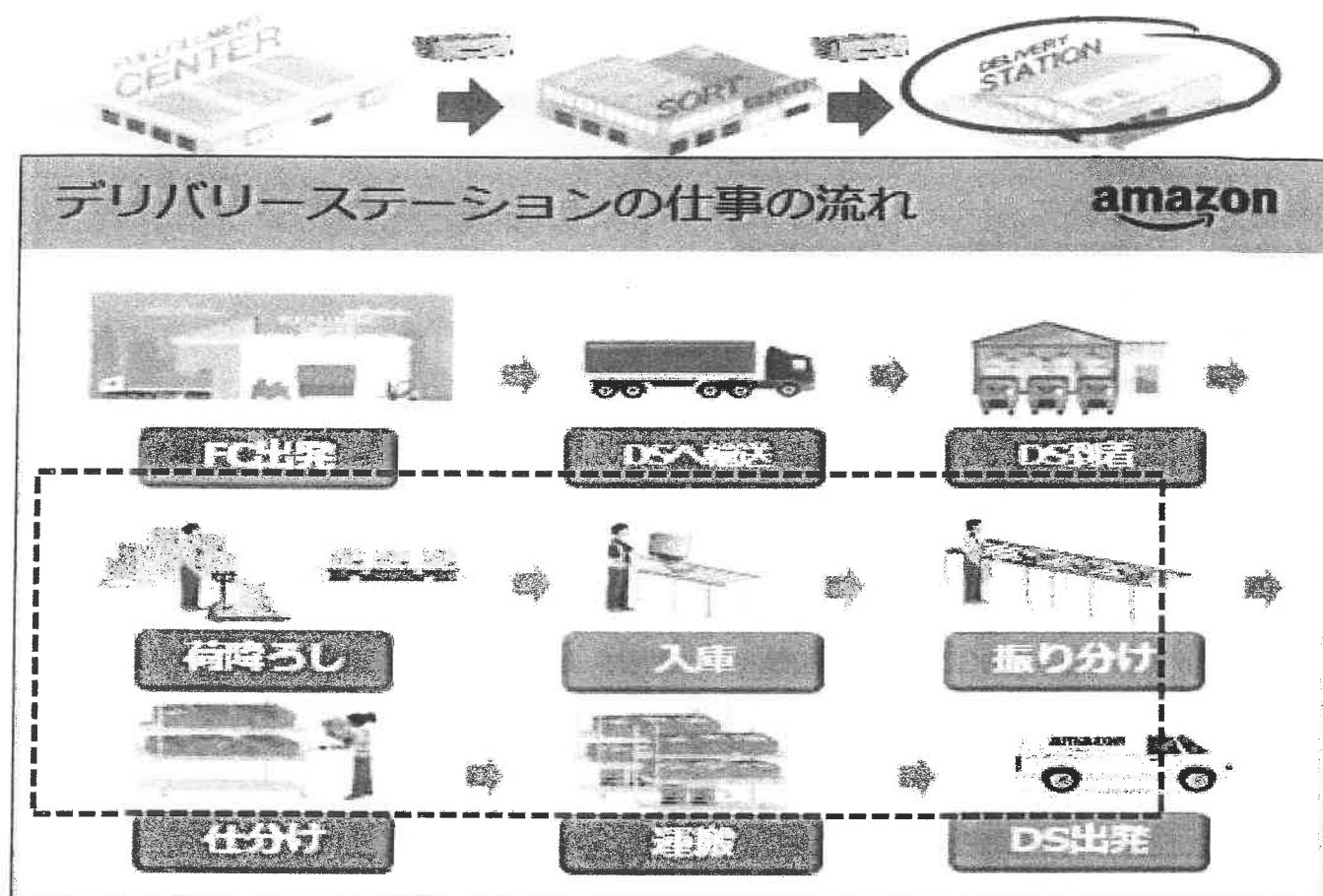
ルートが完成されたら対象のエリアに荷物を移動し、床のバーコードをスキャンし「ステージング」をします。

・求人内容 (例)

全国にあるデリバリーステーション毎に詳細は異なりますが、神奈川の「よこはま若者サポートステーション」にて開示されている求人票を添付いたしますので、参考情報としてご確認ください。就労するにあたり、それぞれの状況を見ながら、柔軟に対応いたします。

《参考情報》

① デリバリーステーションのイメージ図



② 求人票（例）

以上

## 【95】 求人票

事業所名	アマゾンジャパン合同会社(鶴見デリバリーステーション) ※見学→応募
事業内容	総合オンラインストアの運営(和書、洋書、CD、DVD、PCソフトウェア、ゲーム、エレクトロニクス、文房具・オフィス関連商品、ホーム&キッチンほか)
職種 (仕事内容)	配送センターでの荷物の仕分け作業。(梱包済の商品を受けとり配送ルートごとに仕分け) ※未経験 OK。女性でも出来るお仕事です。
勤務条件	<p>直雇用契約社員(パートも応相談可)</p> <p>■フルタイム</p> <p>①週 40 時間 9:00~18:00 (休憩 60 分)</p> <p>①-A: 日・月・火・水・木 ①-B: 火・水・木・金・土、</p> <p>①-C: 土曜日か日曜日のいずれか、または両方を含む連続した固定シフト</p> <p>②週 40 時間 21:00~8:00 (休憩 60 分)</p> <p>②-A: 日・月・火・水 ②-B: 水・木・金・土 ②-C: 土曜日か日曜日のいずれか、または両方を含む連続した固定シフト</p> <p>③週 40 時間 21:00~6:00 (休憩 60 分) ③-A: 日・月・火・水・木 ③-B: 火・水・木・金・土 ③-C: 土曜日か日曜日のいずれか、または両方を含む連続した固定シフト</p> <p>※月平均 10~20 時間程度の時間外勤務の可能性あり</p> <p>※10 時間シフトについては、休憩 60 分に加えて会社の裁量により追加で有給の休憩時間を付与する場合あり</p> <p>■パートの場合のシフト例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週 3 日以上</li> <li>・9:00~16:00、12:00~16:00 など、応相談で決めます。</li> </ul>
賃金	<p>時給: 1,250 円</p> <p>※深夜割増賃金 (22:00~翌 5:00 までは時給が 25%UP し、1,563 円となります)</p> <p>※交通費支給 (日額 2,450 円を上限に、出勤日数に応じて実費支給)</p>
住所	神奈川県横浜市鶴見区生麦 2 丁目 2-26 GLP 横浜 西棟 3F
交通	<p>JR 京浜東北線 鶴見駅からシャトルバス 15 分(無料)</p> <p>※自転車通勤可、車・バイク通勤不可</p>
その他	学歴・経験不問・社会保険完備 (アマゾンジャパン健康保険組合、厚生年金、雇用保険、労災保険) ※勤務シフトに応じて加入条件あり
採用 プロセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学をした上で、応募を検討。</li> <li>・見学日は応相談。見学時間は約 1 時間。</li> <li>・見学後、応募を希望する場合は、アマゾンのサイトから Web 応募。</li> </ul>

# WORK! DIVERSITYについて

ダイバーシティ就労支援機構 理事長  
村木 太郎

# 働くことに困難を抱えている人たち

- 非就労障害者
- 高齢者
- 難病患者、糖尿病患者、がん患者、HIV/エイズ患者
- 高次脳機能障害者、若年性認知症患者
- ギャンブル依存症、薬物依存症、アルコール依存症
- LGBTQ
- 児童養護施設退所者、刑務所等出所者
- ニート・不本意フリーター、就職氷河期世代
- ひきこもり、ホームレス、ネットカフェ難民
- 貧困一人親家庭、生活保護世帯

270万人の就労困難者（＊）

＊ 重複は除いている

# なぜWORK! DIVERSITYか

## ➤社会にとって

- ・ 共生社会      みんなで支え合う社会
- ・ 地域創生      高齢化の中での地域活性化

## ➤経済・企業にとって

- ・ 人手不足の解消、多様な人材の活用による新たな付加価値
- ・ 企業の社会的責任

## ➤就労困難者にとって

- ・ 自立、社会とのつながり、自己肯定感

# WORK! DIVERSITYの経済財政効果（試算）

- モデル事業で就労困難者一人を支援した場合
  - 経済効果 250万円
  - 財政効果 83万円
- 仮にダイバーシティ就労支援として年間15,000人を支援した場合
  - 経済効果 375億円
  - 財政効果 124億円（他に生活保護等福祉支出の減少効果等）
- このような計量可能な経済・財政効果のほかに重要なこととして…
  - 就労困難者の就労実現は、経済効果・財政効果だけでなく、自己実現・社会的包摂を通じて本人はもちろん家族・周りの人々の幸福度を高める
  - 働く人の多様化は企業全体の活性化や新しい市場の創出などにつながり日本の産業競争力を強化する

# WORK! DIVERSITYプロジェクト



2018～

調査～構想発表



2019～2021

検討会



2022～

モデル事業(6自治体)



2023～

政策実現会議



2024  
GOAL

解決策の提示

制度化の検討

実証実験の開始

新たなシステムの構築

調査に基づく具体的試案  
【提起】

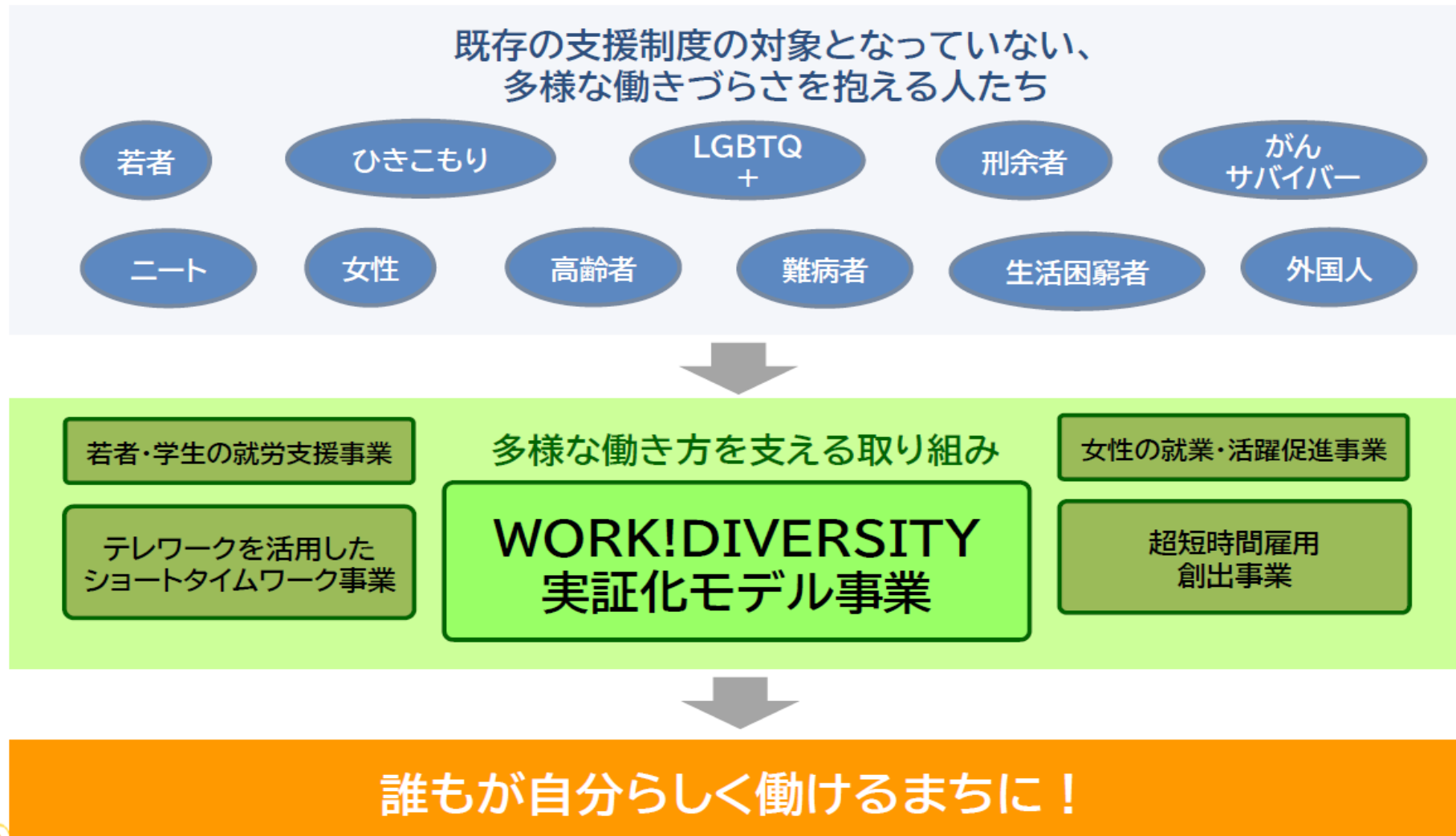
各種部会  
企画委員会  
全体委員会  
【意見の集約と気運の醸成】

具体的試案の効果検証  
【エビデンス取得】

政策化協議から実装へ  
【提言】  
2025年2月

# 岐阜市におけるWORK! DIVERSITY

- 岐阜市が2022年度に打ち出した政策が「岐阜市におけるワークダイバーシティ」。
- 多様な働き方を支える取組みとして、3本の柱+ $\alpha$ を立て実施している。



# 福岡県WORK! DIVERSITY事業

## 支援の流れ

受付

福岡県就労支援協同組合に相談・申込（支援機関・ご本人どちらでも可）

面談・見学

組合・訓練実施事業所による面談 事業所見学

利用判定

利用判定会議

支援詳細決定

個別の支援計画、支援内容の決定

訓練開始

就労移行支援事業所での訓練・就職活動サポート

就職

就労開始・定着支援（必要であれば）

# WORK! DIVERSITY を目指した取組

多様な就労困難者、相談機関



マネージメントセンター

様々な相談窓口における共通の理解・ものさし  
態様別の相談、生活相談等との組合せ



最適な支援へのつなぎ

就労支援の諸制度

障害者

生活困窮者等

労働施策

制度間連携、共通の支援と態様別支援の組合せ



企業就労

定着支援  
紹介・マッチング  
伴走支援

- ・ 地域のプラットフォームガイドライン
- ・ 就労困難者認定（アセスメント）ツールの開発
- ・ 実践研修（相談者・支援者の育成）
- ・ 態様別ガイドライン  
引きこもり、難病、LGBTQ  
刑務所出所者、ケア付就労
- ・ モデル事業

地域・社会の理解と支援

## 豊田市での取組みの紹介



事務局長



代表理事

栗本 浩一



とよた多世代  
参加支援プロジェクト



一般社団法人  
ダイバーシティ・スタイル



# 一般社団法人ダイバーシティ・スタイル

## 事務局



事務局は会員事業所の職員

「会員の強み」と「会員のやりたいこと」で事務局との関わりを成立させる



## WORK! DIVERSITY 実証化モデル事業部

対象者の抽出連携

就労支援事業所による訓練等

支援者ネットワークの構築

企業群への理解促進

市産業部中小企業支援への参入



## とよた多世代参加支援 プロジェクト事業部

重層的支援体制整備事業「参加支援事業」

生活困窮者自立支援事業「就労準備事業」

認知症等の人の社会参加プラットフォーム構築

孤独・孤立の予防に関する理解促進事業

その他の地域共生社会推進に関する取り組み



## 法人事業部

福祉事業所BCPコンサル

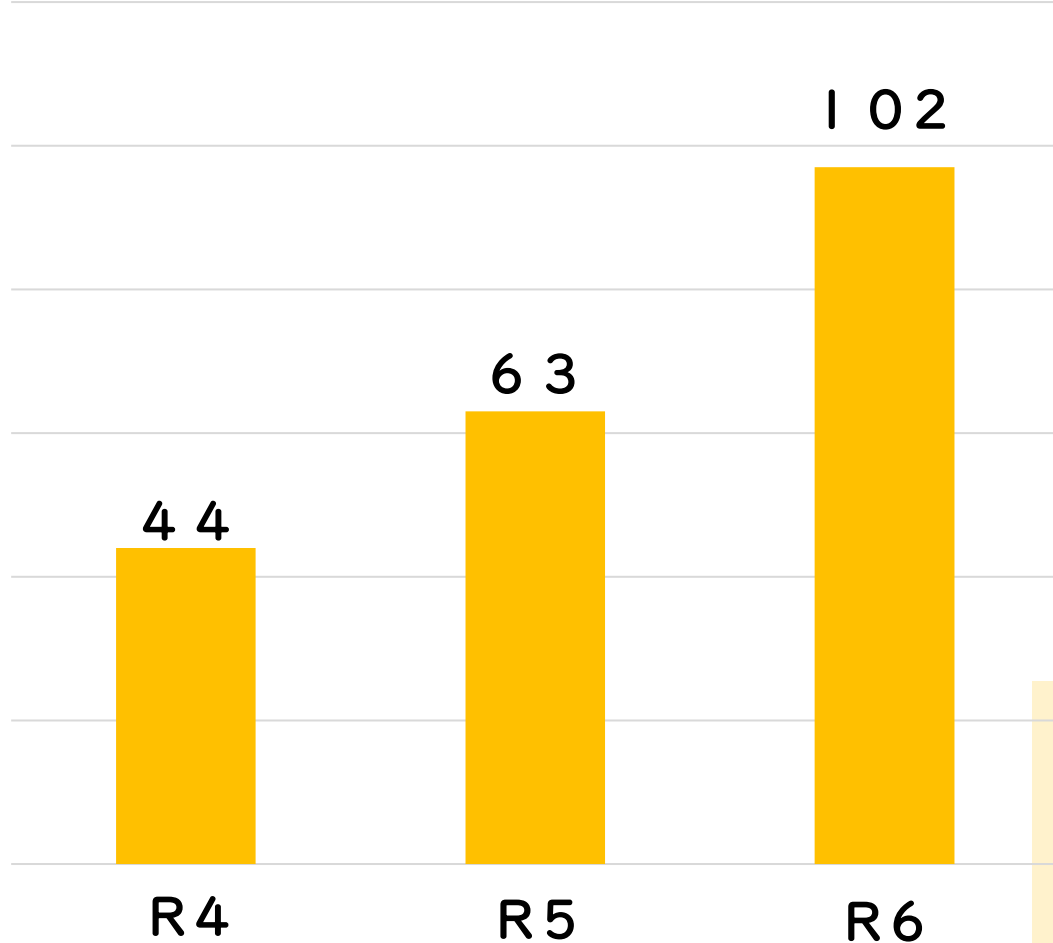
他市町の地域共生社会推進に関する事業への協力  
(自治体・社協・団体等)

大学における社会福祉士  
課程実習指導講師、実習  
生受入協力・調整

など

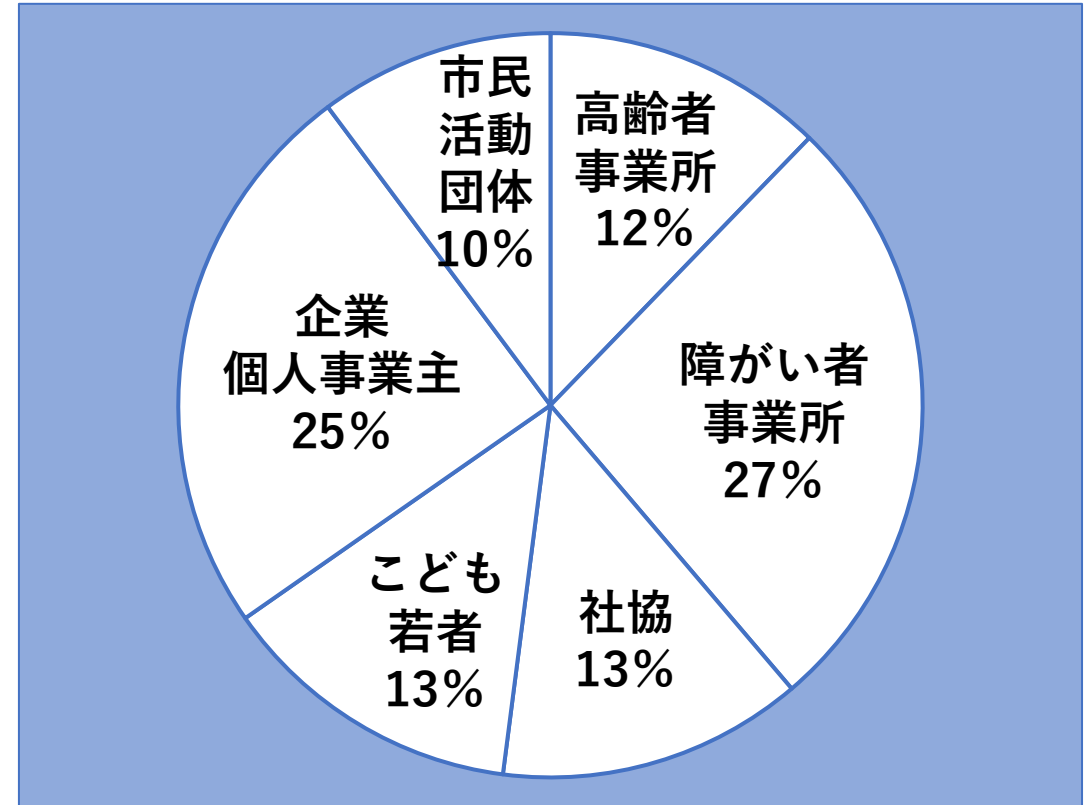


## プロジェクト会員数の推移



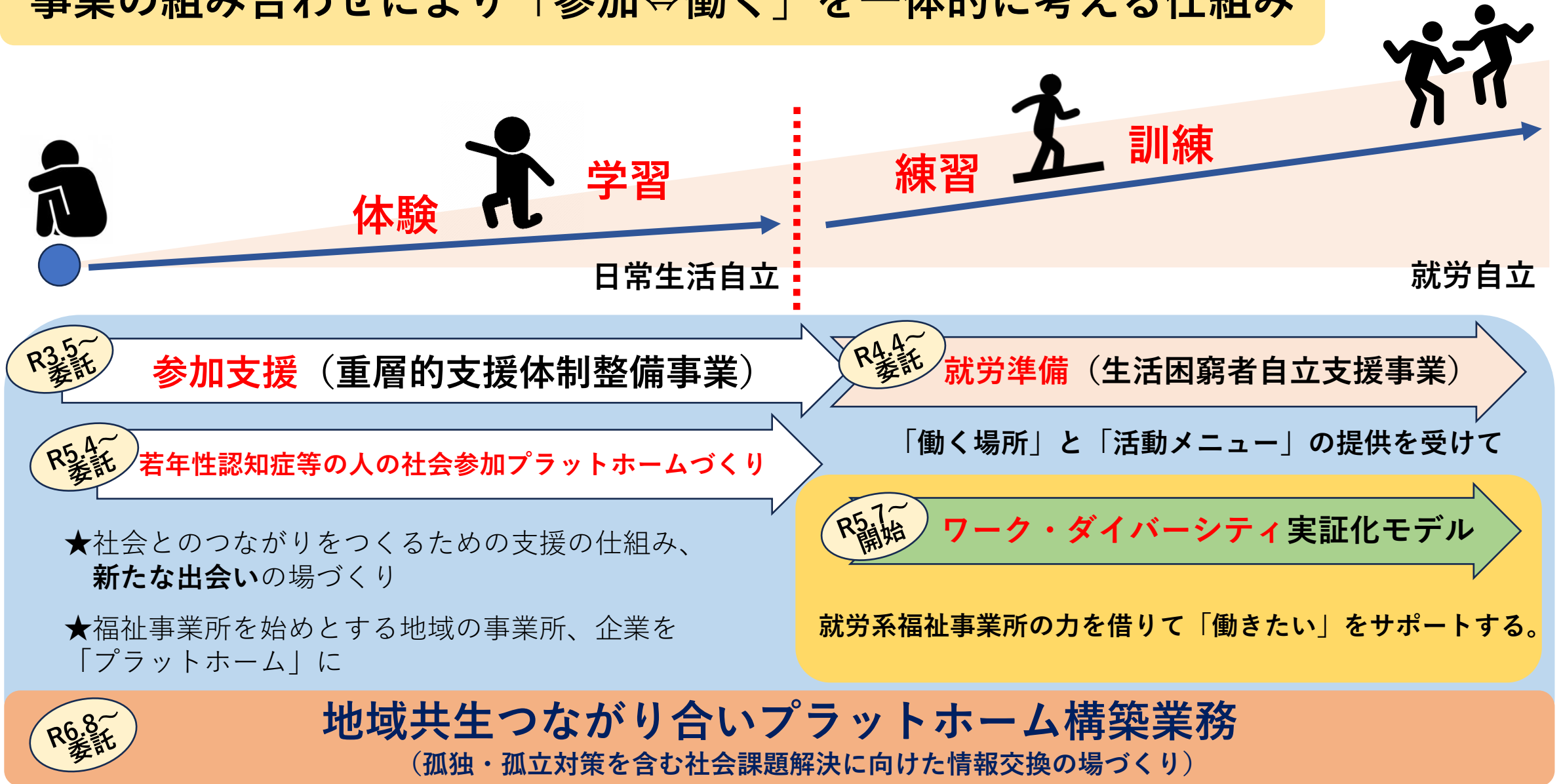
## 会員の属性内訳

R7.2.25現在



引きこもり支援団体 / 企業主導型保育所 / シルバー人材センター  
便利屋 / 仏壇屋 / ビジネスホテル / 生花店 / 通信制高校  
部品製造会社 / 設備保全会社 / コミュニティ電力 / 大学のゼミ  
オムライス屋 / 個別指導塾 / 民泊・コミュニティスペース / お寺  
外国人支援団体 / 薬局 / デザイン会社 / 個人事業主（農業） など

事業の組み合わせにより「参加⇔働く」を一体的に考える仕組み



# 個に対する支援の流れ



社会福祉協議会  
CSW・生活困窮担当

ケース共有



とよた  
多世代参加支援  
プロジェクト



豊田市における

日本財団  
WORK! DIVERSITY  
実証化モデル事業

## サポート内容

support contents



職業訓練プログラム



相談



職場実習



就職活動サポート

一般就労へ  
(福祉就労も)

本人のステージにあった支援

利用者マッチング

コーディネーター

※とよた多世代プロジェクト会員から  
指名して役割を担う

支援プログラムの作成

制度福祉

□ 生活困窮者自立支援法に定める就労支援  
サービス(就労準備支援)

就労準備支援事業委託費

会員の事業所等で活動、  
事業所の仕事を体験

参加支援

□ 社会参加に向けた支援  
(オーダーメイド型)

参加支援事業負担金

会員で共生型プラットフォームを  
創出し、参加支援

若者サポート  
ステーション

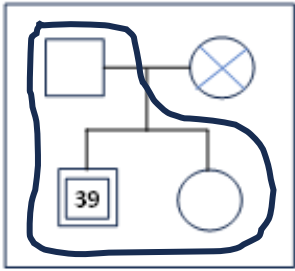
就労・生活  
支援センター

障がい  
相談支援

地域包括  
支援センター

その他の  
支援機関

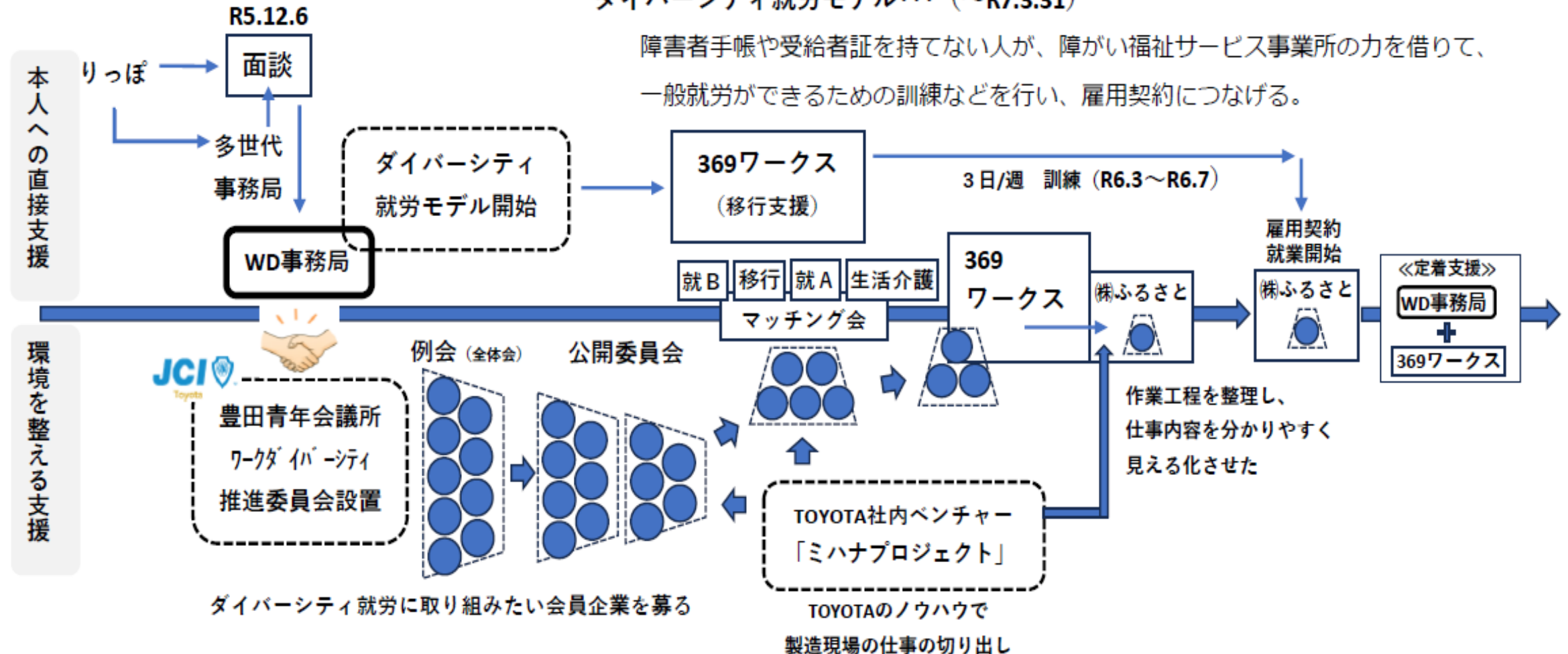
多世代会員  
事業所



39歳男性。父、姉と3人暮らし。トゥレット症。**就業経験なし**。障害者手帳なし。人間関係に不安があり、働けないまま時間が過ぎていた。相手を不快にさせてしまうのではないかと不安が常にある、頭の中に「死ぬ」「殺す」というような言葉が浮かんでしまい、それが周りに聞こえているのではないかと不安。テレビでチック症の人が働いているのを見て、自分も働いてみたいと思い、若者サポートステーション（現：りっぽ）を訪れ、その後、とよた多世代参加支援プロジェクトにつながった。そして、WD実証化モデルへ。

### ダイバーシティ就労モデル…（～R7.3.31）

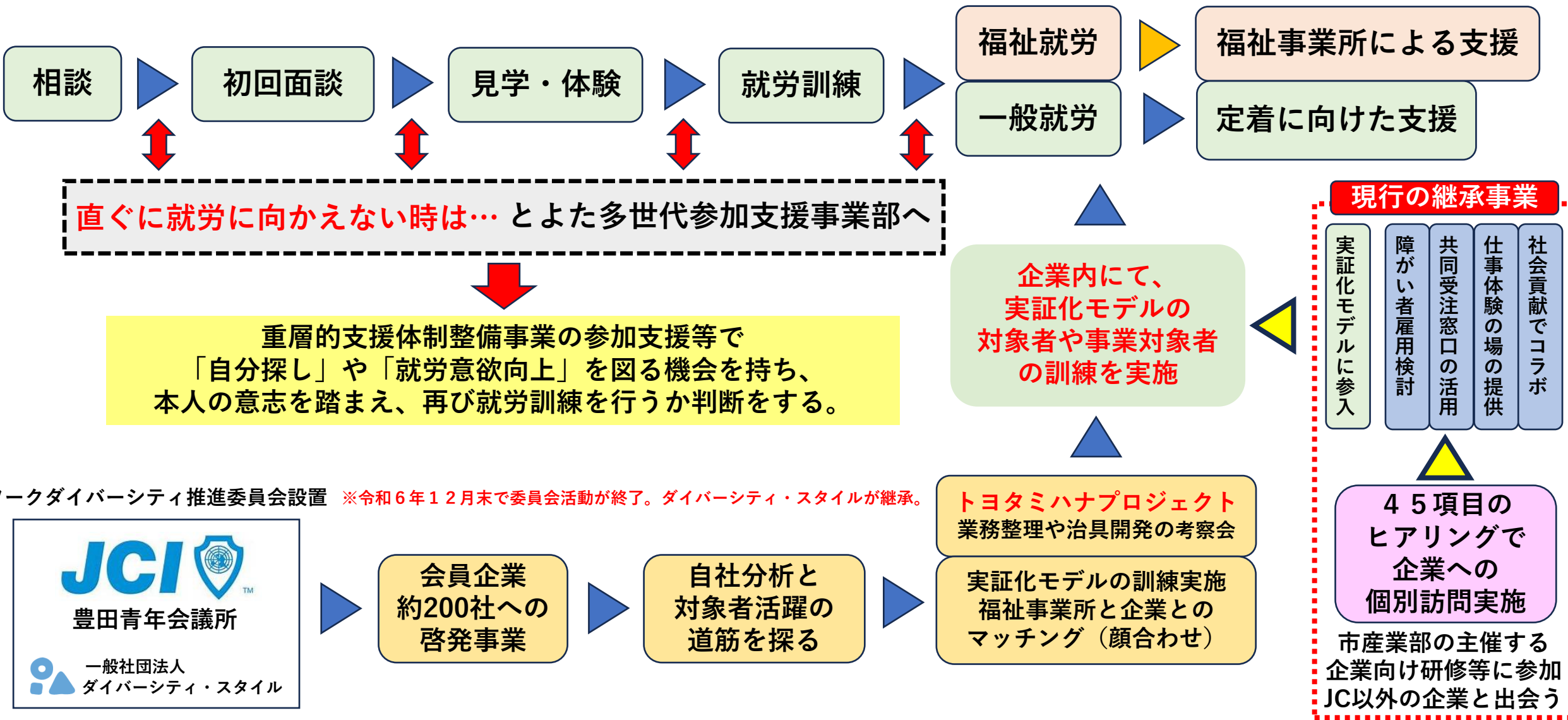
障害者手帳や受給者証を持っていない人が、障がい福祉サービス事業所の力を借りて、一般就労ができるための訓練などを行い、雇用契約につなげる。



# 豊田市でのWORK ! DIVERSITY 実証化モデル

R5.8.7～R7.2.20現在

照会／ 7 3 件	相談件数／ 4 0 件	訓練中／ 9 人	一般就労／ 5 人	福祉就労／ 5 人	中断・未達／ 7 人
-----------	-------------	----------	-----------	-----------	------------



# 「はたらく」を考える オープンミーティング

2024.3.7開催

おたがいさま会議とよた  
主にJC会員企業の皆さん

× 豊田市共同受注窓口  
就労系・生活介護の福祉事業所

× とよた多世代参加支援プロジェクト  
その他、いろんな人



## テーマ①

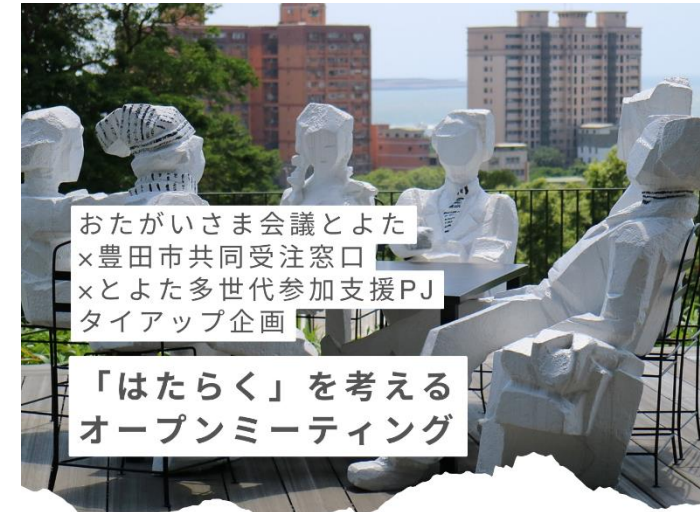
お仕事で  
つながる

## テーマ②

困りごとが  
ある人が企業と  
関われる

## テーマ③

多様に  
つながること  
(仕事や人以外でも)



どなたでも参加可能です。

「はたらく」ことは、社会とつながり、社会の一端を担うことでもあります。今では、多様性が受容される「ダイバーシティ」、違いが尊重され個々が活躍できる「インクルージョン」など、様々な考え方により、企業側とはたらく側双方がより良いあり方を模索しています。参加される方、それぞれの自然な立場で、このことについて気軽に話せる場をご用意しました。「正解」はありません。ぜひお気軽にご参加ください。

2024.3.7 Thu

18:30~20:30

とよた市民活動センター

研修室

(豊田市若宮町1-57-1 T-FACE A館9階)

上記終了後に懇親会も予定しています。(希望者のみ)

お問い合わせ先

とよた多世代参加支援プロジェクト

担当：山口 電話：050-5491-0349

メール：t.yamaguchi@onbunidakko.org



参加お申し込み

右記2次元コードからお申し込みください。



# 豊田青年会議所による「ワークダイバーシティ推進」が始動！ 「働きづらさとは？」



会社に「やさしさ」  
足りてますか？

未来のために考える

Diversity 多様性  
&  
Inclusion 共生

多様性と共生を意識した環境作りで、会社を変える心構えを身に付ける

一般社団法人 豊田青年会議所 2024 年度 4 月度例会

## Think about diversity working!

～共生できる未来のために～

2024 年 4 月 11 日(木) 18:20 ～ 20:30 [開場 18:00]

会場：豊田市福祉センター 41 会議室 [豊田市緑町 1 丁目 1 番地 1]

主催：(一社) 豊田青年会議所

参加のお申し込みは右下 QR コードからお願いします [申込期限：2024 年 3 月 31 日]

STEP:01

ダイバーシティについての理解を深める  
時代の変化と共に高まる重要性

講師：(一社) ワーク・ダイバーシティ・スタイル  
栗本浩一氏

ダイバーシティとは何か、ダイバーシティ数値とは何か、入会し組織が変わる? 未来に向けて、勇気と勇気に対する意識の醸成を行います。

STEP:02

インクルージョンのために必要な社内環境  
社内環境がもたらした会社への影響とは

講師：(有) コンディトライブ レン  
岩本みゆき氏

実際に豊田市の企業が取り入れ実装が作っていることを知ることで、ダイバーシティとインクルージョンの影響を身近に感じていただきます。

STEP:03

シミュレーションワークショップ  
ある状況に置かれた社員との共生を考える

講師：(有) トヨタグループズ (株)  
東恵子氏

シミュレーションを通じて、社員多様性を認識し、活躍するために必要な役割を体感します。どうしたらインクルージョンでできるか考えてみましょう！

【本例会についてのお問い合わせ】

一般社団法人 豊田青年会議所  
ワークダイバーシティ推進委員会

担当：幹事 鈴木雄也  
TEL：090-5613-8072 Mail：yuya.suzuki.yt@gmail.com

お申し込みは QR コードから



(一社) 豊田青年会議所 ワークダイバーシティ推進委員会公開委員会

## WORK! DIVERSITY マッチング

- 新たな視点を取り入れた、民福連携の挑戦 -

働きづらさを抱える豊田市民を対象とした新しい就労支援モデルをつくるプロジェクト「WORK! DIVERSITY 実証化モデル事業」を、民福連携して勉強・意見交換・マッチングをし、検証する事業を 5 月から 3 ヶ月連続で行います。民福それぞれが持つ課題もクリアにしながら、ワークダイバーシティを取り入れた新たな道筋を探ります。

トヨタ自動車  
ミハナプロジェクト  
による  
治具作り  
コンサルティング体験  
も同時に行います！



STEP 1

5/28(火)  
18:30-20:30

ワークダイバーシティと  
治具作りを知る勉強会&意見交換会

豊田市福祉センター 42・43・44 会議室 (豊田市緑町 1-1-1)

ワークダイバーシティ実証化モデル事業の実施と事例、トヨタ自動車「ミハナプロジェクト」の概要と歩みをつまみ、実際にワークダイバーシティ対象者を受け入れる際の不安や困難点、食糧経路のためのアイデアをアウトプットします。

STEP 2

6/27(木)  
18:30-20:30

自社分析とワークダイバーシティ対象者  
活躍の道筋を探る考察会

とよた市民活動センターホール (豊田市緑町 1-1-1 F 41 階 A 91 席)

トヨタ自動車「ミハナプロジェクト」サポートのもと、企業・福祉事業所双方で中核的な役割を担い、このような課題で解決を図ることが出来るのかを語りながらワークセッションを行います。企業・福祉事業所双方の目的を明確にすることで、新たな就労の可能性を見つけていきます。

STEP 3

7/9(火)  
18:30-20:30

活用してみよう！  
ワークダイバーシティマッチング会

豊田市福祉センター 41 会議室 (豊田市緑町 1-1-1)

4～6 月の活動の中で見えてきた道筋をもとに、企業・福祉の双方の意見を話し合うマッチング会を開催。絶えず進めたい、やってみたいという意見を行い、ダイバーシティ就労体験を試みます。

STEP 4

7~9 月

ワークダイバーシティ就労体験  
活用検証

マッチングした企業・福祉事業所にて

STEP3 でマッチングした企業と福祉事業所が連携して、ワークダイバーシティ対象者の受け入れを行います。対象者とのふれあいを通じて、制度活用の有効性の検証や、受け入れの現場における課題を見つけていきます。

お申し込みはこちらから

JC 会員



JC 以外



【本公開委員会についてのお問い合わせ】

一般社団法人 豊田青年会議所  
ワークダイバーシティ推進委員会

担当：幹事 鈴木雄也 TEL：090-5613-8072 Mail：yuya.suzuki.yt@gmail.com

(一社)  
豊田青年会議所  
2024 年度  
10 月度例会

ワーク  
ダイバーシティ  
継承のための  
未来を考える例会

基調講演

(一社) ダイバーシティ  
就労支援機構  
理事長  
村木 太郎 氏

ワークダイバーシティプロジェクトを立ち上げ、実証化モデル事業の委員として牽引してきた村木太郎氏から、立ち上げの経緯や社会が抱えている課題を講演していただきます。

参加型  
ディスカッション

ワークダイバーシティの発展を  
お祝いしつつ、全県労働者のパ  
ネルディスカッションを行います！  
大スクリーンに自分の意見を書き  
込みましょう。豊田の未来の働き  
方について意見を交わし、会場へ  
とつながります。

パネリスト：  
■(一社) ダイバーシティ就労支援機構  
村木 太郎氏  
■豊田市長 本田 裕彦氏  
■(公財) 日本経済新聞 (NKK) プロジェクト  
企画委員会 元委員長 有村 秀一氏  
■(一社) ワーク・ダイバーシティ・スタイル  
栗本 浩一氏  
■(一社) 豊田青年会議所 理事長 鈴木 聖人

参加無料

# 働く未来フォーラム

ワークダイバーシティ継承と実現のための提言

2024 年 10 月 24 日(木) 豊田市福祉センター (豊田市緑町 1-1-1 番地 1)

「働きやすさ」の  
未来のために

16:00  
- 17:30  
ホール前

ワーク  
ダイバーシティ導入  
& 治具開発  
事例展示

5 月から行ってきたワークダイバーシティ実証化モデル事業の検証結果と、トヨタ自動車「ミハナプロジェクト」の治具開発の試作実証をブース展示にて発表。ケースを取りながら、ワークダイバーシティ導入のメリット・デメリットを聞いたり、新たな治具開発の相談が行えます。

参加無料

トヨタ自動車  
ミハナプロジェクト  
チーム協力

ご参加はこちらから



【本例会についてのお問い合わせ】

一般社団法人 豊田青年会議所  
ワークダイバーシティ推進委員会

担当：幹事 鈴木雄也 TEL：090-5613-8072 Mail：yuya.suzuki.yt@gmail.com

※令和 6 年 12 月末で委員会活動が終了。ダイバーシティ・スタイルが継承し、新たな模索を開始。

# 現行の継承事業

新しい、人の活かし方  
見つける・見つかる

就労移行支援  
&  
共同受注窓口

ダイバーシティ  
就労  
活用促進  
セミナー

参加  
無料

2025年2月27日(木) 14:00～16:00

とよた市民活動センター ホール (豊田市若宮町 1-57-1 T-FACE A 館9F)

あなたの企業の人手不足、福祉の力で解決しませんか？

働きやすい職場環境を作りたい、効率の良い仕事マニュアルを作成してみたい、  
障がい者就労について分からない・知りたい・活用してみたい、を叶えるセミナー開催です。

【講話】働くを支援する福祉サービス

「障がい者就労・生活支援センター」とは

豊田市障がい者就労・生活支援センター 主任就業支援担当 山田知弘 氏

【講話】就労移行支援の活用方法 就労移行支援事業所ノックス VITS 豊田 宇野真 氏

共同受注窓口の活用方法 豊田市共同受注窓口 吉村迅翔 氏

【発表】就労移行支援の活用事例紹介 桶兼住設(株)取締役 兼子記人 氏

就労継続支援 B 型の活用事例紹介 学習塾 翠嵐 代表 松井優 氏

【体験】業務整理・仕事発見ワークショップ トヨタ自動車(株) Miehana(ミハナ)プロジェクトチーム

主催：とよた多世代参加支援プロジェクト 協力：(一社)ワーク・ダイバーシティ・スタイル、(一社)豊田青年会議所



参加申し込み  
コチラ



JC以外の企業

意識醸成

- ダイバーシティ就労への理解
- 人材活用方法への理解 など

関心を持った企業へ  
個別訪問  
「45項目のヒアリング」

【訪問者】  
実証化モデル事務局  
共同受注窓口担当者  
実証化モデル移行支援事業所  
元JC委員長(多世代会員) など

業務整理  
切り出し  
コンサル開始

ミハナ  
プロジェクト

移行支援  
事業所へ

実証化モデル  
協力事業所で  
聞き取り内容を  
共有する  
仕組みの構築

それぞれに  
つなぐ

共同受注  
就労B等  
へ

就労的  
参加支援

加入する  
福祉事業所で  
意見交換会の開催  
「連携・創出」を  
考える

重層の参加支援対象者の  
活動の場として

重層の  
参加支援  
対象者

生活介護や  
就労Bの中に  
「居場所・役割」  
「働くに向けた  
体験の場」を創出

事業対象者・実証化モデル対象者の就労につなぐ